

東京工業高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)		授業科目	国語総合III	
科目基礎情報							
科目番号		0106		科目区分		一般 / 必修	
授業形態		授業		単位の種別と単位数		履修単位: 1	
開設学科		電気工学科		対象学年		2	
開設期		前期		週時間数		2	
教科書/教材		『精選現代文B』（東京書籍）/ 『セレクト漢字検定 5級―2級 確認と演習』（桐原書店）					
担当教員		船戸 美智子					
到達目標							
1.筆者の主張と例とを峻別し、要約文を作成することができる。 2.登場人物の心情について、根拠を示したうえで説明できる。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		最低限の到達レベルの目安 (可)	
評価項目1		筆者の主張を的確にとらえたうえで全文を要約できる。		筆者の主張の大概をとらえたうえで全文の要約を作成できる。		筆者の主張の大概をとらえることができる。	
評価項目2		登場人物の心情がどのようなものか、根拠を示したうえで説明することができる。		登場人物の心情について、その大概を説明することができる。		登場人物の心情が描かれた箇所を的確に指摘することができる。	
登場人物の心情をまったく説明できない。							
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要		前年度の「国語総合Ⅰ」を承けて、我が国の近現代を代表する評論や小説の読解と鑑賞をとおとして、論理的な思考法や多角的な豊かなものの見方を身につけていってほしい。					
授業の進め方・方法		主として教科書を用いて講義形式で進めていく。単元によってはプリントを配付するので、事前に問題を解き、授業の時にそれを確認をすること。課題の提出を求めることもあるので、必ず期限日までに提出すること。					
注意点		自学自習内容:本文をよどみなく読めるようにし、難解な語句の意味調べを必ずおこなっておくこと。 初回に配布する予定表にしたがって小テストを実施する。計画的に学習しておくこと。小テストは欠席すると0点となる。やむを得ず欠席した（する）場合は、その旨を申し出ること。					
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	ガイダンス 清岡卓行「ミロのヴィーナス」1		・授業の進め方と成績評価の方法について理解する。 ・ミロのヴィーナスの失われた両腕をめぐっての筆者の美意識について説明する。		
		2週	清岡卓行「ミロのヴィーナス」2		・筆者の考える「芸術」とはどのようなものかを説明する。		
		3週	中島敦「山月記」1		・李徴が虎になるまでの経緯について、心情も含めて説明する。		
		4週	中島敦「山月記」2		・「臆病な自尊心」と「尊大な羞恥心」とはどのようなものかを理由を説明する。		
		5週	中島敦「山月記」3		・本教材の普遍的なテーマがどのようなものかを説明する。		
		6週	中島敦「山月記」4		・ここまでの学習をふりかえり、理解が十分でない箇所を見いだして復習する。		
		7週	前期中間試験		・ここまでの学習をふまえ、設問に対して的確に答える。		
		8週	前期中間試験 返却・解説 鈴木孝夫「相手依存の自己規定」1		・前期中間試験の結果を承け、学年末試験に向けての目標を確立する。		
	2ndQ	9週	鈴木孝夫「相手依存の自己規定」2		・論理的な文章展開とはどのようなものかを説明する。		
		10週	夏目漱石「こころ」1		・筆者の略歴をたどり、小説の意図を理解し、説明することができる。		
		11週	夏目漱石「こころ」2		・「先生」と「K」を中心に、作中人物の関係性を説明できる。		
		12週	夏目漱石「こころ」3		・「K」の人物像を読み取ることができる。		
		13週	夏目漱石「こころ」4		・「先生」の人物像を読み取ることができる。		
		14週	夏目漱石「こころ」5		・作中人物の心の動きを的確に読み取ることができる。		
		15週	前期末試験		・ここまでの学習をふまえ、設問に対して的確に答える。		
		16週	前期末試験 返却と解説		・前期末試験の結果を承け、理解が不十分であった箇所を整理し、今後の国語学習に備える。		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標		到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	国語	国語	論理的な文章(論説や評論)の構成や展開を的確にとらえ、要約できる。	3		
				論理的な文章(論説や評論)に表された考えに対して、その論拠の妥当性の判断を踏まえて自分の意見を述べることができる。	3		
				文学的な文章(小説や随筆)に描かれた人物やものの見方を表現に即して読み取り、自分の意見を述べることができる。	3		
				常用漢字の音訓を正しく使える。主な常用漢字が書ける。	3		

				類義語・対義語を思考や表現に活用できる。	3		
				社会生活で使われている故事成語・慣用句の意味や内容を説明できる。	3		
				専門の分野に関する用語を思考や表現に活用できる。	3		
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	小テスト	合計
総合評価割合	70	0	0	10	0	20	100
基礎的能力	70	0	0	10	0	20	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0